

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
1学期中間試験まで					
単元名	第1章 問うこと、語ること 齋藤亜矢「サイエンスの視点、アートの視点」／「質問する力」を育てよう			使用教材	
単元の概要	「問い」が探究の出発点であることを知り、自ら「問い」を立てる力を身につける。文章の論理構造を掴み、読解する方法を学ぶ。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	●「サイエンスの視点、アートの視点」 ・本文で挙げられているサイエンスとアートの共通点と相違点を正確に読み取る ・「メディアを介して得た情報ではなく、身体を介して自らが体験したところから得られる感動がアートやサイエンスの萌芽である」という筆者の主張について考える ・本文で例として挙げられている諸学問について調べ、自らの興味関心について知る	●「質問する力」を育てよう ・ある新聞記事や記者会見の内容について、どのような質問をするのがよいか考え、グループで話し合う
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2	C2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、身の回りにある、自分自身の心を動かすものや疑問に思うものを考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見 ②グループワークを通して、質問を考へるときに留意すべきことについて、自分なりの見解を持つことができたか※小レポートを作成する	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
1学期中間試験まで					
単元名	第2章 評論文への招待 中屋敷均「システムと変異」			使用教材	
単元の概要	自然界の現象について説明した文章を読み、内容を正確に理解する力を身につける。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究	A3	B3	C3	●「システムと変異」 ・「不均衡進化論」の内容について理解する ・遺伝子変異における「無駄」が生物の生存にとってどのような意義を持つか読み取る	
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、生物としての人間がどのように進化していくか仮説を立てることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
1学期期末試験まで					
単元名	第3章 ことばで伝える思いと考え 松村圭一郎「贈り物と商品の違い」／メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう			使用教材	
単元の概要	人間の行為や社会の仕組みについて考察することでそこに隠された心の動きを読み取り、物事の本質を探究する力を身につける。読んだり聞いたりした内容を分かりやすくまとめる方法について考える。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3 主題を理解した上で、内容を順序立てて分かりやすくまとめることができる。	B3	C3	●「贈り物と商品の違い」 ・文章中の対比構造を掴み、商品交換と贈与を区別するものについて考える ・脱感情化されたやり取りが中心になっている現代において、「共感」することの意義について考える	●メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう ・あるスピーチを聴きながらメモを取り、内容を簡潔にまとめる ・どのようなことに留意すれば話の内容が理解しやすいか、読み返したときに内容を把握しやすいメモが書けるかについてグループで話し合う
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、現代社会において経済活動から切り離された活動について客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見 ②グループワークを通して、メモを取るときに留意すべきことについて、自分なりの見解を持つことができたか※小レポートを作成する	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
1学期期末試験まで					
単元名	第4章 情報と推論 社会を作ることば—情報の整理と活用			使用教材	
単元の概要	データを正確に読み取る。データを元に意見を構築し、文章にまとめる。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	●社会を作ることば ・新聞記事とそれに関連するグラフ、法令の内容を読み取る ・同じグラフと法令を用いて、記事を作成する	
活	A2 グラフの読み取り方や法令の読み方を理解することができる。	B2 読み取った事柄をもとに、自分の意見を構築し文章にまとめることができる。	C2		
礎	A1 グラフや法令を正確に読み取ることができる。	B1 読み取った事柄を関連づけ、意味を見出すことができる。	C1		
			<留意点・評価> ●<思考力・判断力・表現力><主体的に取り組む態度>①作成した記事の内容※小レポートを作成する		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
1学期期末試験まで					
単元名	第5章 「話し合い」から「議論」へ 宇野重規「〈私〉時代のデモクラシー」			使用教材	
単元の概要	現代の社会について論じる上で前提となる、近代についての基礎的な知識を身につけるとともに、論理的に伝える・受け取る力を身につける。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究	A3 文章の背景にある社会的な知識や視座を習得することができる。	B3	C3	●〈私〉時代のデモクラシー ・近代化の内容を理解し、近代以前と以後で社会や人々がどのように変化したかを読み取る ・〈私〉が標準単位である個人主義の時代に、どのように〈私たち〉を形成していけばよいか、という筆者の問題提起について考える	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2	C2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、個性について現代社会のあり方に結びつけながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
2学期中間試験まで					
単元名	第6章「根拠」から「主張」へ 若林幹夫「魔術化する科学技術」／岩井克人「マルジャーナの知恵」			使用教材	
単元の概要	文章の論理構造に着目して読解する。近代社会を振り返ることによって現代社会の直面している問題について理解を深める。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	●「魔術化する科学技術」 ・科学とは何かを読み取る ・科学と宗教の対比構造を理解し、現代の科学技術が魔術化しているという筆者の主張を読み取る ●マルジャーナの知恵 ・情報の本質が差異であることを読み取る ・筆者の主張を説明するために説話が引用されていること、比喩によって説明することの効果について知る ・現代の資本主義における商品の本質が何かを読み取る	
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、高度資本主義社会の功罪について客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
2学期中間試験まで					
単元名	第6章 「根拠」から「主張」へ 議論の前提を明確化しよう(参考:国谷裕子「ポスト真実時代のジャーナリズム」)			使用教材	
単元の概要	与えられた情報について、あらゆる角度から検証し批判的に思考する力を身につける。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準			単元内容		
究	A3 著者の経歴や現代社会の様相を踏まえ、立体的な読解ができる。	B3 著者の経歴や現代社会の実情を踏まえ、筆者の主張に隠された前提を読み解くことができる。	C3	●「ポスト真実時代のジャーナリズム」 ・ポスト真実という概念を理解し、筆者の主張するメディアの在り方、情報の受け手のあるべき姿について読み取る	●議論の前提を明確化しよう ・「ポスト真実時代のジャーナリズム」を題材にして、筆者の経歴などを踏まえ批判的に読解することで、筆者の主張の前提に隠されている事柄を読み解く ・読み解いた内容について、グループで話し合い内容の妥当性を批評し合う
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2		
礎	A1	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、ポスト真実時代の真実のあり方について客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見 ②グループワークの参加態度、発言、意見※小レポートを作成する	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
2学期期末試験まで					
単元名	第7章 伝えること、受け止めること インタビューの作法／ビブリオバトルに挑戦しよう				使用教材
単元の概要	自らの考えを、相手に伝わるように工夫して話す。相手の考えを引き出すように聞き、文章にまとめる。				筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』
評価規準			単元内容		
究 活 礎	A3	B3 相手の発言の意図を汲み取った上で、自らの意図に沿うように編集して文章にまとめることができる。	C3	●インタビューの作法 ・ペアであるテーマについてインタビューを行い、記事を作成する	●ビブリオバトルに挑戦しよう ・ビブリオバトルを行う
	A2 相手の興味を惹いたり、感情を揺さぶったりする伝え方を理解することができる。	B2 自らの発言を誤解が生じないように相手に伝え、相手の発言の意図を理解して聞くことができる。	C2		
	A1 意見を相手に分かりやすく伝える方法を理解することができる。	B1	C1	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①インタビュー記事の内容※インタビュー記事を作成する ②ビブリオバトルの参加態度、発表内容	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
2学期期末試験まで					
単元名	第8章 表現のみがき方 山田登世子「贅沢の条件」			使用教材	
単元の概要	二項対立の文章の読解を通じて、二者の違いを簡潔にまとめる力や、対比構造を用いて思考を深める力を身につける。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究	A3 対比されている二者を図や表にして示すことができる。	B3	C3	●「贅沢の条件」 ・二項対立で示されている「機械的時間」と「手仕事の時間」の特徴について読み取った内容を、図や表にしてまとめる ・情報やメディアのあり方について考える	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2	C2 主題に対して批判的見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、社会問題などに結びつけながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高1／AG	教科／科目	現代の国語	時間数	2時間／週
学年末試験まで					
単元名	第9章 主張の論理的な伝え方 國分功一郎「来たるべき民主主義」			使用教材	
単元の概要	段落の役割や段落相互の関係を掴み、文章の論理構造を理解し、主張を的確に読み取る。			筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容	
究	A3	B3	C3	●「来るべき民主主義」 ・文章の論理構造を掴み、筆者の問いから結論へと至る道筋を正確に読み取る ・筆者の論じる政治の持つ原理的困難性について理解し、考えを深める	
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 文章の主題に対して、政治というものの原理的困難性を理解した上で、建設的な意見を構築することができる。		
礎		A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字、文法など)を修得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、社会問題などに結びつけながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高1／AG	教科／科目		現代の国語	時間数	2時間／週
学年末試験まで							
単元名	第10章 複眼的な視点 西谷修「名づけと所有」					使用教材	
単元の概要	ある現象や行為の表象する内容について考えることで、物事を構造的に理解する力を身につける。					筑摩書房『現代の国語』 京都書房『新訂国語図説』	
評価規準				単元内容			
究	A3 アメリカ大陸発見や開拓などの歴史的背景を踏まえた、立体的で深い読解ができる。	B3	C3	●「名づけと所有」 ・名づけるという行為の持つ本質的な意味を読み取る ・大陸を「アメリカ」化する過程を読み取り、似た構造を持った行為、出来事がないか考える			
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 文章の主題を敷衍させ、同じ構造を持った他の事例を見つけることができる。	C2				
礎	A1	B1 文章の主題に対して自身の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化、一般化し、歴史認識をめぐり問題について客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 ●〈思考力・判断力・表現力〉〈主体的に取り組む態度〉①PBL型授業の参加態度、発言、意見			
	知性・知識	応用・発展	創造的思考				